



2021年2月10日

各 位

会社名 カップ・クリエイト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小澤 俊治  
(コード番号 7421 東証1部)  
問合せ先 取締役管理本部長兼経理部長 小林 元樹  
(TEL 045-224-7095)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想及び2020年5月22日に公表いたしました配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	70,817	355	397	417	8.49
今回修正予想(B)	64,717	△1,505	△1,413	△1,100	△22.30
増減額(B-A)	△6,100	△1,860	△1,810	△1,517	
増減率(%)	△8.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	74,814	1,057	1,529	△267	△5.45

#### (2) 通期連結業績予想修正の理由

前回予想数値を発表した昨年8月7日時点においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が現状以上に悪化せず、消費動向は徐々に回復の方向に進みながらも、今期中は一定程度の影響が残ることを前提とし、連結業績予想を算定いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の第3波が昨年11月下旬より顕在化し、本年1月には緊急事態宣言が再度発令されることとなり、営業時間の短縮や外出自粛要請の影響を受け、先行きが不透明な状況となりました。加えて、本年2月には緊急事態宣言の延長が決定されたことから、売上収益の回復が一層遅れる見通しとなり、売上高、各段階利益につきまして計画を下回る見込みとなりました。

このような状況下、従業員の適正な配置転換による人材の活性化及び人件費の削減、家賃契約に代表される各種契約の見直し等により固定費の削減を実施し販管費の抑制を図り、また、生産性の向上と商品廃棄ロスの削減に取り組む事により損益分岐点を引き下げ、コスト構造の最適化を推進しております。

なお、2022年3月期につきましては、感染防止対策等の取り組みやワクチンの接種開始などにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が一定程度抑止され、営業時間の短縮や外出自粛の要請が緩和されることが期待されるため、既存店売上高は、新型コロナウイルス禍の影響を第3四半期までは受けずに済んだ2020年3月期の実績に対し97%程度まで回復すると想定しております。これらを踏まえ、2022年3月期につきましては、売上高746億円、営業利益22億円を想定しております。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 配当予想修正の理由

当社は、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。

しかしながら、前述の通期業績予想の修正などを踏まえ、誠に遺憾ではございますが、2021年3月期の期末配当予想について無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、復配できるよう努めて参りますので引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### (2) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年5月22日発表)		—	—
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2020年3月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想等の前提に修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示をする予定であります。

以 上